



ちゅうおうしよとうきょうかいかいちやう
中央初等協会会長

ジョイ・D・
ジョーンズ

毎日 神殿に 備える

わたしが9才のとき、コーラー姉妹というすばらしい初等協会の先生がいました。わたしはとてもはずかしがり屋だったのですが、先生がとてもおだやかだったので、先生と一緒にいるのが大好きでした。ある日先生はわたしたちに1まいの紙をわたしました。わたしたちはみんな、大きくなったらやりたいことを書きました。わたしは、「大学に行って、神殿で結婚する」と書きました。わたしはそれを、クローゼットのドアにテープではり付けました。夜になると、まどから街灯の光が入りました。自分の書いたメモを見ると、自分が神殿に行きたいと思っていることを思い出しました。

そのころ、神殿は世界に12しかありませんでした。全部の神殿に行きたいと思いました。

両親が旅行の計画を立てるときはいつも、家族を神殿に連れて行ってくれました。アメリカ合衆国のオレゴン州に住んでいたのですが、一番近い神殿は965キロはなれたカナダのアルバータ州にあるカードストーン神殿でした。わたしたちの車にはエアコンがなかったので、きょうだい3人で後ろの席にすわり、まどの外にぬれた手ぬぐいをぶら下げて冷たくし、それを首につけて冷やしました。

ようやく神殿を見たときは感動しました。そこでどんなことが行われているかはよく分かりませんでした。神殿から出て来た両親は、いつも幸せそうでした。神殿が大切であ



ることがわかりました。主の宮であることがわかりました。(写真で、白いシャツを着ているのがわたしです。)

12才になったわたしは、いくつかの神殿でバプテスマを受けました。将来の夫になる人に会ったとき、彼も神殿が大好きであることがわかりました。わたしたちは、ユタ州のマンタイ神殿で結婚しました。

みなさんは毎日神殿にそなえることができます。行けるときに、神殿に行ってください。神殿のかべにふれてください。孫のジャレットは11才のとき、毎週日曜日になると、かれのお父さんと一緒に家族歴史の作業をしました。たくさんのお父さんの名前を見つけました。12才になった今、その先祖のために神殿でバプテスマを受けています。

神殿にいるとき、イエスが歩まれた道を歩むことができます。神殿は主の宮です。神殿に入って神の愛を感じるそなえができるように、毎日天のお父様に助けをいのり求めてください。■